



海城中学高等学校

## 高い学力と豊かな人間性を育み、 世界で通用する人材へ

Tokyo  
Kaijo Junior &  
Senior High School

建学の精神として、「国家・社会に有為な人材の育成」を掲げる海城中学高等学校。そのために必要とされる「新しい人間力」と「新しい学力」を体現しているのが、海城吹奏楽団だ。入学式や卒業式、文化祭、同窓会総会等、学校を代表する行事をはじめ、春の定期演奏会でも活躍する海城吹奏楽団。社会で活躍するための力を身につけられる、その秘密に迫ってみた。



**先輩後輩、みんな違うからこそ育まれる「新しい人間力」**

海城吹奏楽団は、中学・高校合同で総勢約60名。団員は、ついこの前まで小学生だったメンバーから、一年後には大学受験を控えているメンバーまで様々だ。「1年生と5年生では、積み重ねてきた経験はもちろん、価値観まで全然違います。だけど、年齢や立場に関係なく、気軽に意見を言えて風通しが良いのが海城吹奏楽団です」と団長の寄藤幸成君（6年）は言う。この柔軟性の高さは、学業との両立や他部活と



齋藤教諭と寄藤君



海城吹奏楽団の多彩な演奏活動

の兼部のしやすさにも当てはまる。これは、先輩たちの時代から脈々と受け継がれてきたもので、この雰囲気魅せられて入団したメンバーも多い。ちなみに寄藤君もその一人だ。しかし、もともと意見交換が盛んな部活だったとはいえ、団長になったばかりの頃はメンバーとのコミュニケーションの取り方に悩むこともあった。「どうすれば後輩の意見を引き出すことができるのか」「みんなが楽しんで参加してくれるにはどうすれば良いのか」。自分なりに試行錯誤しながら、これまでメンバーを引っ張ってきた。今ではたまた、休日に後輩を誘って、数人で日光や伊東までサイクリングを楽しむほどに信頼関係が出来上がった。「みんなそれぞれ違うけれど、演奏という同じ目標に向かって一つになる。お互いの違いを受け入れ、一人ひとりの良いところを引き出し合うからこそ『海城の音色』を奏でられるのだと思います」。

**伝統を大切にしながらも、常に挑戦し続ける「新しい学力」**

海城吹奏楽団にとって、実はこの数年は過渡期ともいえる時代だった。創設以来20年以上、団の指揮監督は外部の先生に頼んできたのだが、現在は顧問である齋藤教諭と一緒に、メンバー同手探りの状態で団の方向性を模索している。「私自身が楽器演奏経験がないので、メンバーに支えてもらいながら、この吹奏楽団にとって何が良いのかを一緒に考え、行動してきました」と齋



楽団メンバーの熱のこもった演奏

藤教諭。「大切にしているのは、これまでの伝統を踏襲しながらも、変えていくべきことは変えていくこと。たとえば、練習日や振り分け、演奏会で披露する曲のジャンルといった段取りのようなものは基本的には変えていないですが、選曲などはメンバー主体で行なっています。もちろん、自由で風通しの良い雰囲気は海城吹奏楽団の伝統として、これからもずっと守っていくべきものです。何を変え、何を守っていくのかまだまだ試行錯誤の状態ですが、色々なことに挑戦できるのが海城吹奏楽団であり、海城の校風だと思います」と寄藤君は言う。

海城中学高等学校というと、もしかしたらお堅いイメージを抱く人もいるかもしれない。もちろん学業に関しては、海城中学高等学校には圧倒的な実績がある。だが同時に、高校・大学を卒業し、

社会で活躍する人材になるために、学業だけでなくバランスの取れた人間性を育てることに重きが置かれている。齋藤教諭は、寄藤君についてこう言う。「先輩後輩関係なく、誰とでも仲良くコミュニケーションを取ることができていました。しかし、それは決して相手の『ご機嫌をとる』ということではありません。寄藤君は団長としての立場をきちんとわきまえ、立場にあった振る舞いができていて、安定感があった。それがみんなから彼への『信頼』につながっていたのだと思います」これに対し寄藤君は、「先輩方が守ってきたこと、そして自分にしてくれたことを、同じように後輩にすることを心がけてきました」と言う。高い学力とバランスのとれた豊かな人間性。海城中学高等学校には、これからの時代に求められる大切なものを育

む土壌があるのだ。

**グローバル教育が推進する世界に通用する「新しい紳士」の育成**

吹奏楽団でフルートパートのリーダーを務める山田健人君（6年）は、グローバル部にも所属し、当部の部長も務めている。昨年5月にニューヨークで開かれた模擬国連国際大会では、日本の男子高校生では初となる最優秀大使賞受賞の快挙を見事成し遂げた。受賞にはもちろんグローバル部での研鑽が直接にはつながっているが、他国の大使役を巻き込み、まとめ上げることは楽団でのパートリーダーとしての経験が少なからず役立ったのではないだろうか。

吹奏楽団の新たな展開は、グローバルな人材育成にもつながっている。



さまざまな活動が多彩に展開され校内は常に活気にあふれている